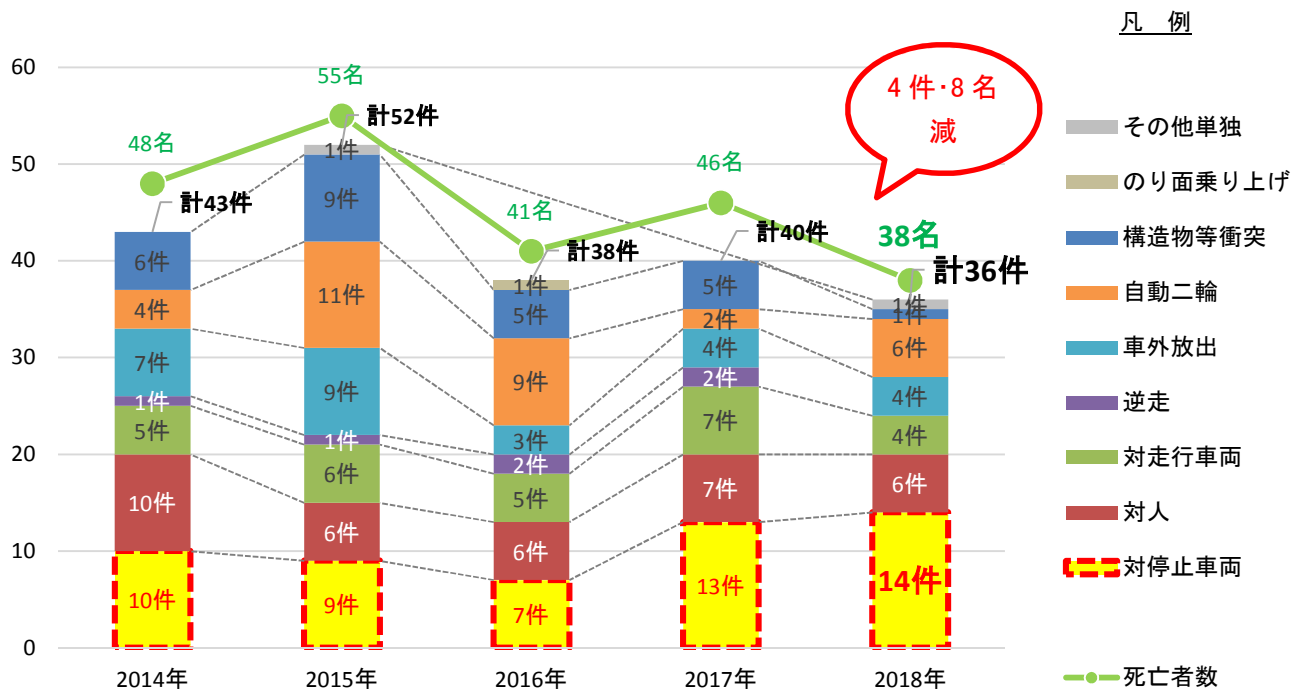


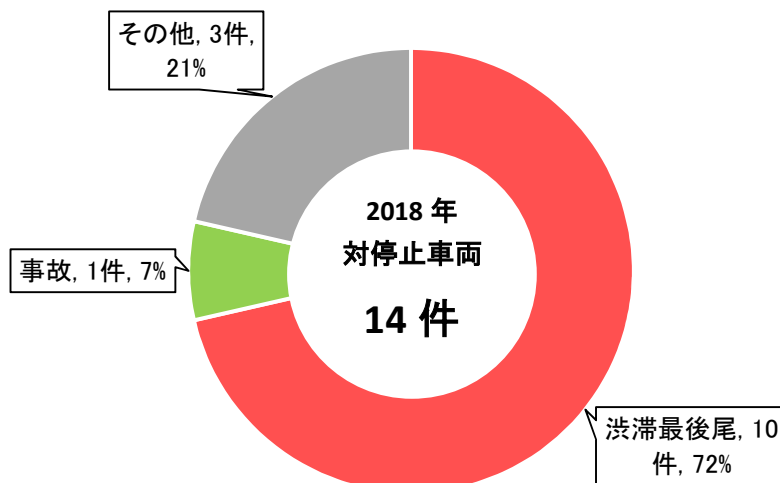
2018年における交通死亡事故の発生状況 ～渋滞最後尾などへの追突事故が多発しています～

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路で2018年（1月1日～12月31日）に発生した交通死亡事故件数についてとりまとめましたので報告します。

- ・ 死亡事故件数は36件、死亡者数は38名。2017年対比で、4件・8名の減少。
- ・ 件数、人数ともにこれまで5か年で最も少ない。
- ・ 事故形態について、対停止車両追突事故（渋滞または事故などで高速道路上に停止していた車両に追突する事故）が14件で全体の4割を占める。
- ・ うち、渋滞最後尾車両などへの追突事故が10件で対停止車両事故の約7割を占める。



【図1】交通死亡事故発生状況の推移および年別形態別件数内訳（※当社調べ）



【図2】2018年 対停止車両死亡事故 停止状況別件数内訳（※当社調べ）

【参考】

渋滞後尾車両などへの追突事故防止対策の一例

■ 標識車による情報提供

渋滞情報の提供や渋滞に応じて注意喚起の標識車を工事規制箇所の手前や渋滞末尾に配置



■ 注意喚起内容の工夫

注意喚起「渋滞時ハザード点灯」を看板や簡易LED情報板で表示



■ 交通集中や規制による渋滞上流側での迂回・経路情報の提供



■ 振動による注意喚起

舗装表面に台形状のリブ(パイブライン)を設け、車両通過時に発生する音と振動による注意喚起



■ 啓発ポスター・チラシ

SA・PAで啓発ポスター掲示やチラシ等の配布

渋滞後ろではハザードランプを!



- 渋滞の中や後ろでは追突事故が発生しやすくなります。追突を回避し、渋滞進行や停止する場合は、ハザードランプを点灯し、後続車に合図しましょう。
- ① 車間距離を詰め過ぎないようにしましょう。
- ② 不必要な車線変更を控えましょう。
- ③ 割り込みでも減速しないようにしましょう。

